

# アセットバック証券オープン (毎月分配型) Cコース/Dコース

## 運用報告書(全体版)

第181期 (決算日2017年4月5日) 第182期 (決算日2017年5月8日) 第183期 (決算日2017年6月5日)  
第184期 (決算日2017年7月5日) 第185期 (決算日2017年8月7日) 第186期 (決算日2017年9月5日)

作成対象期間 (2017年3月7日～2017年9月5日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Cコース	Dコース
商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2002年3月1日以降、無期限とします。	
運用方針	運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター (MBS(Mortgage Backed Securities)、CMBS(Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS(Asset Backed Securities)) への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として米国ドルを用いて為替ヘッジを行います。	
主な投資対象	アセットバック証券オープンCコース/Dコース	アセットバック証券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
主な投資制限	アセットバック証券オープンCコース/Dコース	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への投資は新株予約権付社債(転換社債)を転換したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。
分配方針	アセットバック証券オープンマザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
	毎決算時に、原則として利子・配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt;Cコース&gt;

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰	落 中 率		期 騰 落 率	中 率			
	円	円	%		%	%	%	%	百万円	
157期(2015年4月6日)	9,553	20	1.5	144.11	1.3	97.0	—	704		
158期(2015年5月7日)	9,401	20	△1.4	142.56	△1.1	97.1	—	687		
159期(2015年6月5日)	9,378	20	△0.0	142.39	△0.1	98.7	—	683		
160期(2015年7月6日)	9,332	20	△0.3	142.59	0.1	98.3	—	679		
161期(2015年8月5日)	9,347	20	0.4	143.10	0.4	96.5	—	677		
162期(2015年9月7日)	9,341	20	0.1	144.14	0.7	94.5	—	674		
163期(2015年10月5日)	9,412	20	1.0	145.64	1.0	93.6	—	678		
164期(2015年11月5日)	9,311	20	△0.9	143.37	△1.6	93.6	—	665		
165期(2015年12月7日)	9,247	20	△0.5	142.94	△0.3	94.7	—	656		
166期(2016年1月5日)	9,192	20	△0.4	142.92	△0.0	93.0	—	649		
167期(2016年2月5日)	9,327	20	1.7	146.35	2.4	93.5	—	652		
168期(2016年3月7日)	9,308	20	0.0	145.33	△0.7	95.1	—	638		
169期(2016年4月5日)	9,375	20	0.9	146.59	0.9	93.9	—	643		
170期(2016年5月6日)	9,390	20	0.4	146.73	0.1	94.2	—	610		
171期(2016年6月6日)	9,363	20	△0.1	146.57	△0.1	94.1	—	607		
172期(2016年7月5日)	9,432	10	0.8	148.27	1.2	95.0	—	611		
173期(2016年8月5日)	9,420	10	△0.0	148.09	△0.1	94.3	—	606		
174期(2016年9月5日)	9,373	10	△0.4	146.88	△0.8	98.2	—	588		
175期(2016年10月5日)	9,336	10	△0.3	146.63	△0.2	98.6	—	574		
176期(2016年11月7日)	9,314	10	△0.1	146.39	△0.2	96.9	—	574		
177期(2016年12月5日)	9,068	10	△2.5	142.17	△2.9	99.3	—	557		
178期(2017年1月5日)	9,014	10	△0.5	141.36	△0.6	97.6	—	553		
179期(2017年2月6日)	8,990	10	△0.2	141.32	△0.0	95.3	—	550		
180期(2017年3月6日)	8,957	10	△0.3	140.79	△0.4	96.2	—	541		
181期(2017年4月5日)	8,993	10	0.5	141.86	0.8	96.0	—	542		
182期(2017年5月8日)	8,991	10	0.1	141.89	0.0	98.3	—	526		
183期(2017年6月5日)	9,053	10	0.8	143.09	0.8	96.2	—	525		
184期(2017年7月5日)	8,954	10	△1.0	141.74	△0.9	99.7	—	512		
185期(2017年8月7日)	8,987	10	0.5	142.46	0.5	96.0	—	508		
186期(2017年9月5日)	9,026	10	0.5	143.04	0.4	96.2	—	508		

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

\* 参考指数（=BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース））は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円ヘッジおよび円換算したものです。  
 （出所および許可）バンクオブアメリカ・メリルリンチ、〈出所〉ブルームバーグ

## &lt;Cコース&gt;

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	
			騰 落 率			騰 落 率				
第181期	(期 首) 2017年3月6日	円	8,957	%	140.79	%	—	96.2	%	—
	3月末		8,971	0.2	141.29	0.4		94.6		—
	(期 末) 2017年4月5日		9,003	0.5	141.86	0.8		96.0		—
第182期	(期 首) 2017年4月5日		8,993	—	141.86	—		96.0		—
	4月末		9,013	0.2	142.31	0.3		97.2		—
	(期 末) 2017年5月8日		9,001	0.1	141.89	0.0		98.3		—
第183期	(期 首) 2017年5月8日		8,991	—	141.89	—		98.3		—
	5月末		9,041	0.6	142.77	0.6		96.9		—
	(期 末) 2017年6月5日		9,063	0.8	143.09	0.8		96.2		—
第184期	(期 首) 2017年6月5日		9,053	—	143.09	—		96.2		—
	6月末		9,000	△0.6	142.29	△0.6		98.0		—
	(期 末) 2017年7月5日		8,964	△1.0	141.74	△0.9		99.7		—
第185期	(期 首) 2017年7月5日		8,954	—	141.74	—		99.7		—
	7月末		8,995	0.5	142.41	0.5		95.2		—
	(期 末) 2017年8月7日		8,997	0.5	142.46	0.5		96.0		—
第186期	(期 首) 2017年8月7日		8,987	—	142.46	—		96.0		—
	8月末		9,038	0.6	143.10	0.4		95.2		—
	(期 末) 2017年9月5日		9,036	0.5	143.04	0.4		96.2		—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

## &lt;Dコース&gt;

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税金配分	み期騰落率				
	円	円	%		%	%	百万円
157期(2015年4月6日)	8,881	15	1.0	160.63	0.7	97.3	1,498
158期(2015年5月7日)	8,766	15	△1.1	159.45	△0.7	97.4	1,468
159期(2015年6月5日)	9,119	15	4.2	166.18	4.2	95.1	1,505
160期(2015年7月6日)	8,944	15	△1.8	163.84	△1.4	96.9	1,458
161期(2015年8月5日)	9,094	15	1.8	166.96	1.9	94.5	1,458
162期(2015年9月7日)	8,727	15	△3.9	161.14	△3.5	96.5	1,388
163期(2015年10月5日)	8,870	15	1.8	164.19	1.9	94.1	1,403
164期(2015年11月5日)	8,888	15	0.4	163.72	△0.3	92.2	1,402
165期(2015年12月7日)	8,959	15	1.0	165.63	1.2	92.3	1,379
166期(2016年1月5日)	8,639	15	△3.4	160.39	△3.2	94.1	1,301
167期(2016年2月5日)	8,618	15	△0.1	161.26	0.5	94.4	1,300
168期(2016年3月7日)	8,378	15	△2.6	155.74	△3.4	95.6	1,249
169期(2016年4月5日)	8,257	15	△1.3	153.48	△1.4	95.4	1,227
170期(2016年5月6日)	8,013	15	△2.8	148.80	△3.1	96.6	1,185
171期(2016年6月6日)	7,938	15	△0.7	147.59	△0.8	96.6	1,160
172期(2016年7月5日)	7,700	15	△2.8	143.62	△2.7	95.9	1,125
173期(2016年8月5日)	7,606	15	△1.0	142.04	△1.1	95.8	1,106
174期(2016年9月5日)	7,761	15	2.2	144.75	1.9	96.9	1,122
175期(2016年10月5日)	7,653	15	△1.2	143.09	△1.1	97.2	1,102
176期(2016年11月7日)	7,724	15	1.1	144.73	1.1	96.0	1,106
177期(2016年12月5日)	8,221	15	6.6	154.05	6.4	96.9	1,168
178期(2017年1月5日)	8,376	15	2.1	157.24	2.1	96.3	1,175
179期(2017年2月6日)	8,074	15	△3.4	151.99	△3.3	96.8	1,128
180期(2017年3月6日)	8,142	15	1.0	153.45	1.0	96.7	1,135
181期(2017年4月5日)	7,975	15	△1.9	150.69	△1.8	96.5	1,104
182期(2017年5月8日)	8,116	15	2.0	153.57	1.9	96.6	1,122
183期(2017年6月5日)	8,016	15	△1.0	151.93	△1.1	96.4	1,101
184期(2017年7月5日)	8,114	15	1.4	154.24	1.5	97.3	1,110
185期(2017年8月7日)	7,979	15	△1.5	151.98	△1.5	96.7	1,039
186期(2017年9月5日)	7,948	15	△0.2	151.38	△0.4	96.4	1,033

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

\* 参考指数（=BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース））は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円換算したものです。

（出所および許可）バンクオブアメリカ・メリルリンチ、（出所）ブルームバーグ

## &lt;Dコース&gt;

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 数	騰 落 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
第181期	(期 首) 2017年3月6日	8,142	—	153.45	—	96.7	—
	3月末	8,058	△1.0	151.99	△1.0	96.7	—
	(期 末) 2017年4月5日	7,990	△1.9	150.69	△1.8	96.5	—
第182期	(期 首) 2017年4月5日	7,975	—	150.69	—	96.5	—
	4月末	8,037	0.8	151.99	0.9	96.8	—
	(期 末) 2017年5月8日	8,131	2.0	153.57	1.9	96.6	—
第183期	(期 首) 2017年5月8日	8,116	—	153.57	—	96.6	—
	5月末	8,043	△0.9	152.21	△0.9	96.7	—
	(期 末) 2017年6月5日	8,031	△1.0	151.93	△1.1	96.4	—
第184期	(期 首) 2017年6月5日	8,016	—	151.93	—	96.4	—
	6月末	8,082	0.8	153.32	0.9	96.6	—
	(期 末) 2017年7月5日	8,129	1.4	154.24	1.5	97.3	—
第185期	(期 首) 2017年7月5日	8,114	—	154.24	—	97.3	—
	7月末	7,967	△1.8	151.42	△1.8	100.0	—
	(期 末) 2017年8月7日	7,994	△1.5	151.98	△1.5	96.7	—
第186期	(期 首) 2017年8月7日	7,979	—	151.98	—	96.7	—
	8月末	8,015	0.5	152.46	0.3	96.4	—
	(期 末) 2017年9月5日	7,963	△0.2	151.38	△0.4	96.4	—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

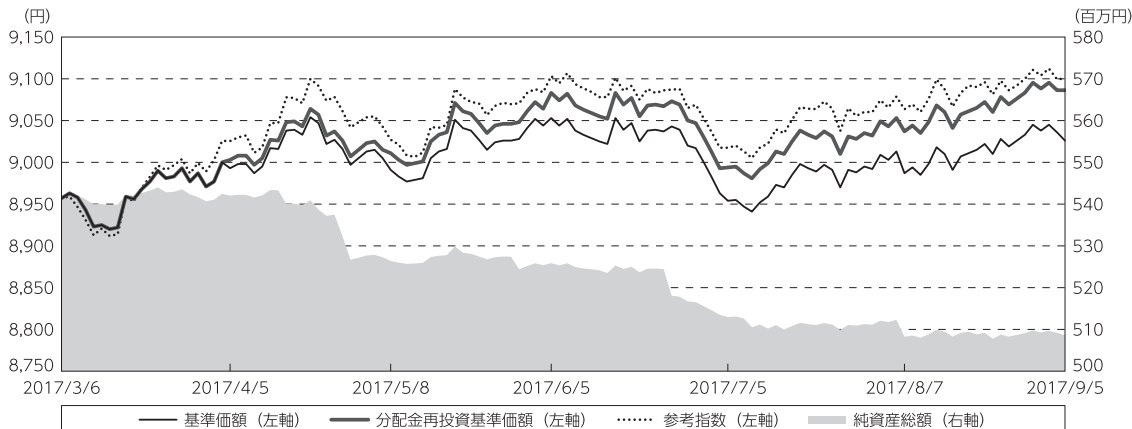
\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

## &lt;Cコース&gt;

## ◎運用経過

## ○作成期間中の基準価額等の推移



第181期首：8,957円

第186期末：9,026円 (既払分配金 (税込み) : 60円)

騰落率：1.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2017年3月6日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス (円ヘッジベース) です。参考指数は、作成期首 (2017年3月6日) の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ◎基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の8,957円から当作成期末には9,026円となりました。

- ・2017年4月に、北朝鮮やシリア情勢を巡り、地政学的リスクが高まる中、市場では安全資産を求める動きが強まり、高格付けのアセットバック証券が買われて上昇したこと
- ・2017年6月に、ECB (欧州中央銀行) の金融緩和策の縮小観測などを背景に、アセットバック証券を含めて欧米債券市場全体が下落したこと
- ・2017年7月に、イエレンFRB (米連邦準備制度理事会) 議長による議会証言を受けて、今後の金融引き締めペースが緩やかになるとの見方が強まったことなどから、アセットバック証券は上昇したこと

## <Cコース>

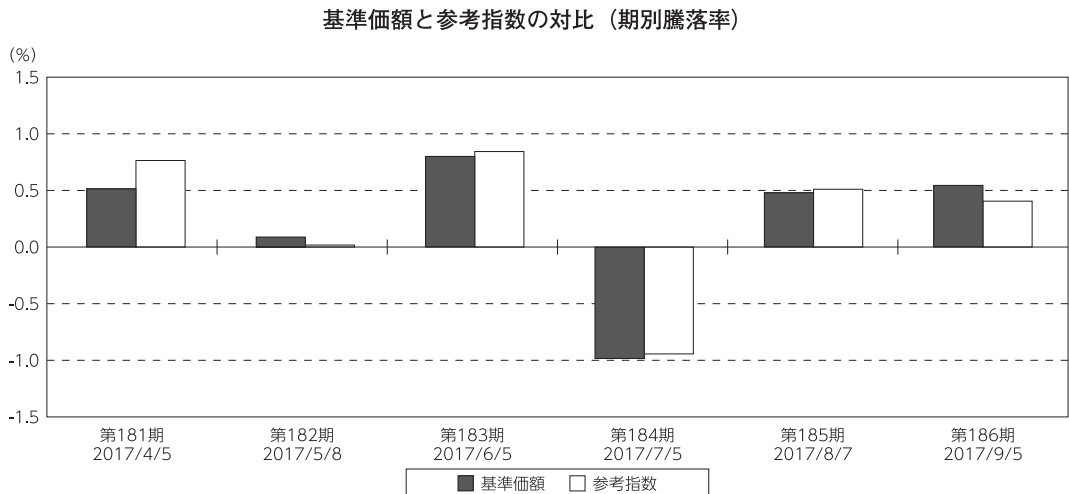
### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）の+1.6%に対し、基準価額※は+1.4%となりました。主な差異の要因は、円ヘッジコストがかかったことなどでした。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）です。

<Cコース>

◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期	第186期
	2017年3月7日～ 2017年4月5日	2017年4月6日～ 2017年5月8日	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年8月7日	2017年8月8日～ 2017年9月5日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.111%	0.111%	0.110%	0.112%	0.111%	0.111%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,540	3,542	3,556	3,561	3,571	3,582

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

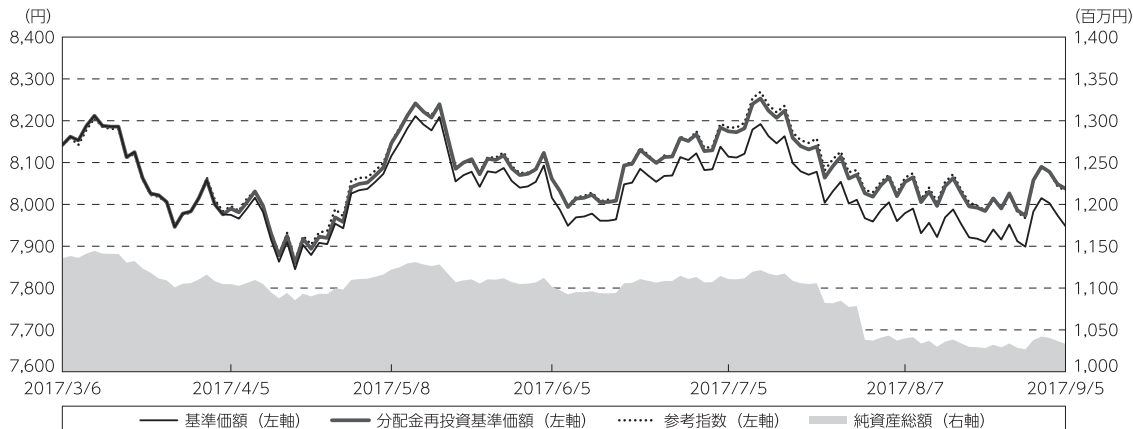
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## &lt;Dコース&gt;

## ◎運用経過

## ○作成期間中の基準価額等の推移



第181期首：8,142円

第186期末：7,948円 (既払分配金(税込み)：90円)

騰落率：△1.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年3月6日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2017年3月6日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の8,142円から当作成期末には7,948円となりました。

- ・2017年4月に、北朝鮮やシリア情勢を巡り、地政学的リスクが高まる中、市場では安全資産を求める動きが強まり、高格付けのアセットバック証券が買われて上昇したこと
- ・2017年6月に、ECB(欧州中央銀行)の金融緩和策の縮小観測などを背景に、アセットバック証券を含めて欧米債券市場全体が下落したこと
- ・2017年7月に、イエレンFRB(米連邦準備制度理事会)議長による議会証言を受けて、今後の金融引き締めペースが緩やかになるとの見方が強まったことなどから、アセットバック証券は上昇したこと
- ・ドル/円の為替変動

<Dコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

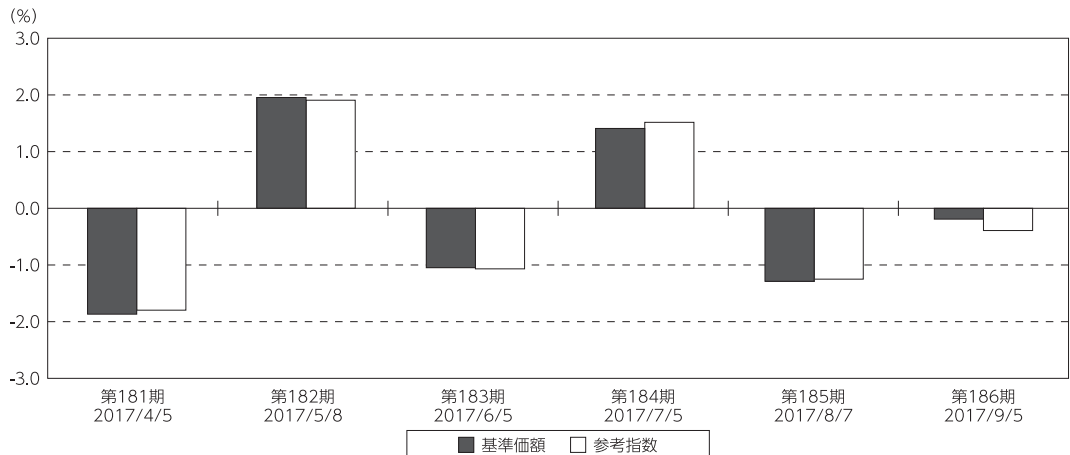
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）の-1.3%に対し、基準価額※は-1.3%となり、参考指数並みのパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。

<Dコース>

◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期	第186期
	2017年3月7日～ 2017年4月5日	2017年4月6日～ 2017年5月8日	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年8月7日	2017年8月8日～ 2017年9月5日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.188%	15 0.184%	15 0.187%	15 0.185%	15 0.188%	15 0.188%
当期の収益	10	10	15	15	10	10
当期の収益以外	5	5	—	—	5	5
翌期繰越分配対象額	1,187	1,189	1,190	1,195	1,195	1,194

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Cコース／Dコース>

### ○投資環境

米国債券市場は、当作成期間では、利回り低下（価格は上昇）傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向、トランプ米国大統領の発言内容などに左右されました。

アセットバック証券市場は、当作成期間では、利回り低下傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向、トランプ米国大統領の発言内容などに左右されました。

為替市場では、2017年4月にシリアや北朝鮮の情勢を巡り地政学的リスクに対する警戒感が高まったことなどをを受けて、ドルは下落しました。5月に、フランス大統領選挙においてマクロン氏が勝利し、欧州政治を巡る懸念が和らいだことなどをを受けて、ドルは上昇しました。7月以降、トランプ政権へのロシア疑惑が再燃したことや、オバマケア（医療保険制度改革法）の見直しが難航していることなどから、米国政治情勢の行き詰まりが懸念されドルが売られました。当作成期間では、ドルに対して円高が進行しました。

### ○当ファンドのポートフォリオ

#### [アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクを低減させました。

#### [アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行いませんでした。

#### [アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。

- ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
- ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
- ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

<Cコース/Dコース>

## ◎今後の運用方針

### [アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

### [アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図る方針です。

### [アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

## &lt;Cコース&gt;

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年3月7日～2017年9月5日)

項 目	第181期～第186期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 50	% 0.552	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(28)	(0.309)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販 売 会 社 )	(20)	(0.217)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	3	0.028	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.003)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	53	0.580	
作成期間の平均基準価額は、9,009円です。			

\*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年3月7日～2017年9月5日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第181期～第186期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 11,870	千円 27,700	千口 23,358	千円 54,900

\*単位未満は切り捨て。

## &lt;Cコース&gt;

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年3月7日～2017年9月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2017年9月5日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第180期末		第186期末	
		口	数	口	数
			千口	千口	千円
アセットバック証券オープンマザーファンド			225,840	214,352	502,549

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2017年9月5日現在)

項	目	第186期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アセットバック証券オープンマザーファンド		502,549	98.6
コール・ローン等、その他		7,098	1.4
投資信託財産総額		509,647	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*アセットバック証券オープンマザーファンドにおいて、第186期末における外貨建て純資産（1,491,610千円）の投資信託財産総額（1,536,468千円）に対する比率は97.1%です。

\*外貨建て資産は、第186期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.66円。

## &lt;Cコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第181期末	第182期末	第183期末	第184期末	第185期末	第186期末
	2017年4月5日現在	2017年5月8日現在	2017年6月5日現在	2017年7月5日現在	2017年8月7日現在	2017年9月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,059,987,689	1,042,568,984	1,032,281,333	1,019,413,185	1,001,247,808	998,374,320
コール・ローン等	5,427,131	5,323,224	5,198,662	5,050,783	4,992,706	5,098,137
アセットバック証券オープンマザーファンド(評価額)	533,881,321	530,328,425	519,499,077	520,617,352	499,306,463	502,549,935
未収入金	520,679,237	506,917,335	507,583,594	493,745,050	496,948,639	490,726,248
(B) 負債	517,956,362	516,164,036	506,415,434	506,456,243	492,988,434	489,736,749
未払金	516,862,210	515,044,189	505,388,510	505,409,770	489,306,740	488,726,900
未払収益分配金	602,713	585,502	580,886	572,876	565,527	563,527
未払解約金	—	—	—	—	2,605,940	—
未払信託報酬	490,477	533,298	445,162	472,670	509,229	445,444
未払利息	7	9	8	7	7	8
その他未払費用	955	1,038	868	920	991	870
(C) 純資産総額(A-B)	542,031,327	526,404,948	525,865,899	512,956,942	508,259,374	508,637,571
元本	602,713,908	585,502,859	580,886,216	572,876,529	565,527,940	563,527,940
次期繰越損益金	△ 60,682,581	△ 59,097,911	△ 55,020,317	△ 59,919,587	△ 57,268,566	△ 54,890,369
(D) 受益権総口数	602,713,908口	585,502,859口	580,886,216口	572,876,529口	565,527,940口	563,527,940口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,993円	8,991円	9,053円	8,954円	8,987円	9,026円

(注) 第181期首元本額は605,092,426円、第181～186期中追加設定元本額は555,514円、第181～186期中一部解約元本額は42,120,000円、1口当たり純資産額は、第181期0.8993円、第182期0.8991円、第183期0.9053円、第184期0.8954円、第185期0.8987円、第186期0.9026円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,926,608円。(‘16年10月25日～’17年4月24日、アセットバック証券オープンマザーファンド)



## &lt;Cコース&gt;

## ○損益の状況

項 目	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期	第186期
	2017年3月7日～ 2017年4月5日	2017年4月6日～ 2017年5月8日	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年8月7日	2017年8月8日～ 2017年9月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 192	△ 255	△ 180	△ 206	△ 216	△ 187
支払利息	△ 192	△ 255	△ 180	△ 206	△ 216	△ 187
(B) 有価証券売買損益	3,290,050	926,925	4,626,324	△ 4,632,406	2,950,273	3,180,076
売買益	19,455,348	12,939,572	10,239,894	9,419,719	19,060,436	11,537,813
売買損	△ 16,165,298	△ 12,012,647	△ 5,613,570	△ 14,052,125	△ 16,110,163	△ 8,357,737
(C) 信託報酬等	△ 491,432	△ 534,336	△ 446,030	△ 473,590	△ 521,020	△ 446,314
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	2,798,426	392,334	4,180,114	△ 5,106,202	2,429,037	2,733,575
(E) 前期繰越損益金	△ 65,613,677	△ 61,552,760	△ 61,233,782	△ 56,808,556	△ 61,656,250	△ 59,570,622
(F) 追加信託差損益金	2,735,383	2,648,017	2,614,237	2,568,047	2,524,174	2,510,205
(配当等相当額)	( 24,401,383)	( 23,732,696)	( 23,584,143)	( 23,290,500)	( 23,023,540)	( 22,958,206)
(売買損益相当額)	(△ 21,666,000)	(△ 21,084,679)	(△ 20,969,906)	(△ 20,722,453)	(△ 20,499,366)	(△ 20,448,001)
(G) 計(D+E+F)	△ 60,079,868	△ 58,512,409	△ 54,439,431	△ 59,346,711	△ 56,703,039	△ 54,326,842
(H) 収益分配金	△ 602,713	△ 585,502	△ 580,886	△ 572,876	△ 565,527	△ 563,527
次期繰越損益金(G+H)	△ 60,682,581	△ 59,097,911	△ 55,020,317	△ 59,919,587	△ 57,268,566	△ 54,890,369
追加信託差損益金	2,735,383	2,648,017	2,614,237	2,568,047	2,524,174	2,510,205
(配当等相当額)	( 24,401,606)	( 23,732,876)	( 23,584,463)	( 23,290,710)	( 23,023,807)	( 22,958,206)
(売買損益相当額)	(△ 21,666,223)	(△ 21,084,859)	(△ 20,970,226)	(△ 20,722,663)	(△ 20,499,633)	(△ 20,448,001)
分配準備積立金	188,996,221	183,684,494	182,994,697	180,764,145	178,976,422	178,898,329
繰越損益金	△252,414,185	△245,430,422	△240,629,251	△243,251,779	△238,769,162	△236,298,903

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年3月7日～2017年9月5日)は以下の通りです。

項 目	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期	第186期
	2017年3月7日～ 2017年4月5日	2017年4月6日～ 2017年5月8日	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年8月7日	2017年8月8日～ 2017年9月5日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,254,877円	653,744円	1,365,453円	875,375円	1,109,254円	1,128,840円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	24,401,606円	23,732,876円	23,584,463円	23,290,710円	23,023,807円	22,958,206円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	188,344,057円	183,616,252円	182,210,130円	180,461,646円	178,432,695円	178,333,016円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	214,000,540円	208,002,872円	207,160,046円	204,627,731円	202,565,756円	202,420,062円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,550円	3,552円	3,566円	3,571円	3,581円	3,592円
g. 分配金	602,713円	585,502円	580,886円	572,876円	565,527円	563,527円
h. 分配金(1万口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

## &lt;Cコース&gt;

## ○分配金のお知らせ

	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期	第186期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

- ①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

- ②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

## &lt;Dコース&gt;

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年3月7日～2017年9月5日)

項 目	第181期～第186期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 44	% 0.552	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(25)	(0.309)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販 売 会 社 )	(17)	(0.217)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	2	0.026	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2 )	(0.025)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	46	0.578	
作成期間の平均基準価額は、8,033円です。			

\*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年3月7日～2017年9月5日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第181期～第186期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 39,635	千円 93,000

\*単位未満は切り捨て。

## &lt;Dコース&gt;

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年3月7日～2017年9月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2017年9月5日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第180期末		第186期末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 475,945	千口 436,309	千円 1,022,927	

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2017年9月5日現在)

項 目	第186期末	
	評 価 額	比 率
アセットバック証券オープンマザーファンド	千円 1,022,927	% 98.7
コール・ローン等、その他	13,221	1.3
投資信託財産総額	1,036,148	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*アセットバック証券オープンマザーファンドにおいて、第186期末における外貨建て純資産（1,491,610千円）の投資信託財産総額（1,536,468千円）に対する比率は97.1%です。

\*外貨建て資産は、第186期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.66円。

## &lt;Dコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第181期末	第182期末	第183期末	第184期末	第185期末	第186期末
	2017年4月5日現在	2017年5月8日現在	2017年6月5日現在	2017年7月5日現在	2017年8月7日現在	2017年9月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,107,831,872	1,125,246,143	1,104,600,392	1,114,259,281	1,042,891,723	1,036,148,542
コール・ローン等	10,899,727	10,413,137	11,020,431	10,244,911	10,391,630	10,421,215
アセットバック証券オープンマザーファンド(評価額)	1,093,632,145	1,111,033,006	1,090,579,961	1,100,214,370	1,029,500,093	1,022,927,327
未収入金	3,300,000	3,800,000	3,000,000	3,800,000	3,000,000	2,800,000
(B) 負債	3,097,831	3,174,853	3,005,684	3,510,561	3,042,475	2,873,364
未払収益分配金	2,077,792	2,073,840	2,061,272	2,053,433	1,954,781	1,950,158
未払解約金	—	—	—	455,787	—	15,902
未払信託報酬	1,018,037	1,098,850	942,558	999,381	1,085,561	905,523
未払利息	15	18	17	15	14	17
その他未払費用	1,987	2,145	1,837	1,945	2,119	1,764
(C) 純資産総額(A-B)	1,104,734,041	1,122,071,290	1,101,594,708	1,110,748,720	1,039,849,248	1,033,275,178
元本	1,385,194,925	1,382,560,021	1,374,181,719	1,368,955,939	1,303,187,569	1,300,105,565
次期繰越損益金	△ 280,460,884	△ 260,488,731	△ 272,587,011	△ 258,207,219	△ 263,338,321	△ 266,830,387
(D) 受益権総口数	1,385,194,925口	1,382,560,021口	1,374,181,719口	1,368,955,939口	1,303,187,569口	1,300,105,565口
1万口当たり基準価額(C/D)	7.975円	8.116円	8.016円	8.114円	7.979円	7.948円

(注) 第181期首元本額は1,394,610,182円、第181～186期中追加設定元本額は1,294,113円、第181～186期中一部解約元本額は95,798,730円、1口当たり純資産額は、第181期0.7975円、第182期0.8116円、第183期0.8016円、第184期0.8114円、第185期0.7979円、第186期0.7948円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,926,608円。(‘16年10月25日～’17年4月24日、アセットバック証券オープンマザーファンド)

## &lt;Dコース&gt;

## 〇損益の状況

項 目	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期	第186期
	2017年3月7日～ 2017年4月5日	2017年4月6日～ 2017年5月8日	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年8月7日	2017年8月8日～ 2017年9月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 380	△ 527	△ 415	△ 459	△ 464	△ 384
支払利息	△ 380	△ 527	△ 415	△ 459	△ 464	△ 384
(B) 有価証券売買損益	△ 20,053,419	22,609,301	△ 10,689,705	16,387,469	△ 14,648,546	△ 1,264,810
売買益	96,200	22,620,364	67,039	16,436,261	525,106	18,019
売買損	△ 20,149,619	△ 11,063	△ 10,756,744	△ 48,792	△ 15,173,652	△ 1,282,829
(C) 信託報酬等	△ 1,020,024	△ 1,100,995	△ 944,395	△ 1,001,326	△ 1,087,680	△ 907,287
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 21,073,823	21,507,779	△ 11,634,515	15,385,684	△ 15,736,690	△ 2,172,481
(E) 前期繰越損益金	△164,988,135	△187,020,601	△165,851,056	△178,834,674	△157,379,741	△173,954,059
(F) 追加信託差損益金	△ 92,321,134	△ 92,902,069	△ 93,040,168	△ 92,704,796	△ 88,267,109	△ 88,753,689
(配当等相当額)	( 25,651,984)	( 24,958,960)	( 24,132,775)	( 24,055,009)	( 22,912,566)	( 22,243,221)
(売買損益相当額)	(△117,973,118)	(△117,861,029)	(△117,172,943)	(△116,759,805)	(△111,179,675)	(△110,996,910)
(G) 計(D+E+F)	△278,383,092	△258,414,891	△270,525,739	△256,153,786	△261,383,540	△264,880,229
(H) 収益分配金	△ 2,077,792	△ 2,073,840	△ 2,061,272	△ 2,053,433	△ 1,954,781	△ 1,950,158
次期繰越損益金(G+H)	△280,460,884	△260,488,731	△272,587,011	△258,207,219	△263,338,321	△266,830,387
追加信託差損益金	△ 93,013,732	△ 93,593,349	△ 93,040,168	△ 92,704,796	△ 88,918,703	△ 89,403,742
(配当等相当額)	( 24,959,636)	( 24,268,518)	( 24,133,033)	( 24,055,292)	( 22,261,263)	( 21,593,875)
(売買損益相当額)	(△117,973,368)	(△117,861,867)	(△117,173,201)	(△116,760,088)	(△111,179,966)	(△110,997,617)
分配準備積立金	139,495,989	140,179,819	139,507,671	139,600,713	133,533,876	133,704,963
繰越損益金	△326,943,141	△307,075,201	△319,054,514	△305,103,136	△307,953,494	△311,131,608

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年3月7日～2017年9月5日)は以下の通りです。

項 目	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期	第186期
	2017年3月7日～ 2017年4月5日	2017年4月6日～ 2017年5月8日	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年8月7日	2017年8月8日～ 2017年9月5日
a. 配当等収益(経費控除後)	2,090,794円	2,371,436円	2,230,471円	2,679,063円	1,799,963円	1,813,732円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	25,652,234円	24,959,798円	24,133,033円	24,055,292円	22,912,857円	22,243,928円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	138,790,389円	139,190,943円	139,338,472円	138,975,083円	133,037,100円	133,191,336円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	166,533,417円	166,522,177円	165,701,976円	165,709,438円	157,749,920円	157,248,996円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,202円	1,204円	1,205円	1,210円	1,210円	1,209円
g. 分配金	2,077,792円	2,073,840円	2,061,272円	2,053,433円	1,954,781円	1,950,158円
h. 分配金(1万口当たり)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

## &lt;Dコース&gt;

## ○分配金のお知らせ

	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期	第186期
1万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

- ①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

- ②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2017年9月5日現在)

## &lt;アセットバック証券オープンマザーファンド&gt;

下記は、アセットバック証券オープンマザーファンド全体(650,662千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第186期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	86,631	13,547	1,485,609	97.4	0.1	79.8	17.4	0.1
合 計	86,631	13,547	1,485,609	97.4	0.1	79.8	17.4	0.1

\*邦貨換算金額は、第186期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*S&amp;Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスによる格付けを採用しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第186期末						
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B	2.375	335	340	37,381	2027/5/15	
	US TREASURY N/B	2.25	65	65	7,180	2027/8/15	
特殊債券 (除く金融債)	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.13	350	364	40,009	2021/6/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.716	2,000	2,060	225,944	2022/6/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.002	1,490	1,551	170,188	2024/1/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.768	444	458	50,262	2024/4/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.243	510	535	58,742	2027/4/25	
	FHMS K033 A2	3.06	4,272	4,468	490,054	2023/7/25	
	FN AS1317	4.0	862	918	100,672	2043/12/1	
	GNMA 30YR 589197	6.5	16	18	2,048	2032/8/15	
	GNMA 364408	6.5	4	4	497	2023/11/15	
SBAP 1998-20F 1	6.3	18	18	2,020	2018/6/1		
普通社債券 (含む投資法人債券)	BSARM 04-7 4A	3.76217	10	10	1,115	2034/10/25	
	COMM MORTGAGE TRUST	2.801	500	508	55,748	2047/11/10	
	JP MORGAN CHAS CMMRCI IO	0.0648	73,835	252	27,685	2046/12/15	
	JP MORGAN CHASE COMMERC	3.5074	440	462	50,766	2045/5/15	
	JPMCC 2002-CIB4 C	6.45	32	32	3,550	2034/5/12	
	JPMCC 2010-C2 A3	4.0698	400	421	46,185	2043/11/15	
	MORGAN STANLEY BAML TRUS	4.900975	45	48	5,351	2046/11/15	
	WORLD FINANCIAL NETWORK	2.55	500	507	55,603	2024/6/17	



銘 柄			第186期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
			%	千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ	普通社債券 (含む投資法人債券)	WORLD FINANCIAL NETWORK	2.03	500	497	54,599	2025/4/15
合 計						1,485,609	

\* 邦貨換算金額は、第186期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

# アセットバック証券オープン マザーファンド

## 運用報告書

第20期（決算日2017年4月24日）

作成対象期間（2016年4月26日～2017年4月24日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として米国ドル建てのアセットバック証券に分散投資し、高収益の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター（MBS (Mortgage Backed Securities)、CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS (Asset Backed Securities)) への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。
主な投資対象	米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
主な投資制限	株式への投資は転換社債を転換したもの等に限る、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。

**野村アセットマネジメント**

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	騰落	中率	騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
16期(2013年4月24日)	19,249	29.8	197.62	25.5	98.0	—	2,631
17期(2014年4月24日)	19,700	2.3	199.17	0.8	99.3	—	2,187
18期(2015年4月24日)	24,257	23.1	241.45	21.2	98.3	—	2,164
19期(2016年4月25日)	23,247	△4.2	229.29	△5.0	95.7	—	1,853
20期(2017年4月24日)	23,148	△0.4	225.33	△1.7	97.2	—	1,618

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*債券組入比率の中には売付債券(TBA取引)の比率は含まれておりません。

\*参考指数(=BofA・メルリリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース))は、BofA・メルリリンチ米国5年国債インデックス(現地通貨ベース)をもとに、当社において円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の米ドル為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算しております。  
(出所、許可) バンクオブアメリカ・メルリリンチ、(出所) ブルームバーグ

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率
	騰落	騰落率	騰落	騰落率		
(期首) 2016年4月25日	円	%		%	%	%
	23,247	—	229.29	—	95.7	—
4月末	22,937	△1.3	226.19	△1.4	97.4	—
5月末	23,211	△0.2	228.58	△0.3	97.4	—
6月末	21,928	△5.7	215.81	△5.9	96.1	—
7月末	22,228	△4.4	218.52	△4.7	96.6	—
8月末	21,973	△5.5	215.13	△6.2	96.5	—
9月末	21,638	△6.9	211.79	△7.6	95.4	—
10月末	22,244	△4.3	217.57	△5.1	97.2	—
11月末	23,442	0.8	228.20	△0.5	97.6	—
12月末	24,106	3.7	235.06	2.5	97.0	—
2017年1月末	23,646	1.7	230.33	0.5	97.0	—
2月末	23,481	1.0	228.76	△0.2	97.5	—
3月末	23,392	0.6	227.47	△0.8	97.6	—
(期末) 2017年4月24日	円	%		%	%	%
	23,148	△0.4	225.33	△1.7	97.2	—

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*債券組入比率の中には売付債券(TBA取引)の比率は含まれておりません。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース)です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の23,247円から期末の23,148円になりました。

- ・ 2016年9月に、FOMC(米連邦公開市場委員会)において利上げが見送られたことなどをを受けて、アセットバック証券市場が上昇したこと
- ・ 2016年11月に、共和党候補のトランプ氏が米国大統領選挙で当選したことをを受けて、同氏の拡張的な財政政策による景気加速や、それに伴うインフレ率上昇への警戒感が高まったことなどを背景に、アセットバック証券市場が下落したこと
- ・ 2016年12月に、FOMCで利上げが決定され、2017年以降の利上げペースの加速が意識されたことなどから、アセットバック証券市場が下落したこと
- ・ 2017年3月中旬以降、FOMCにおいて政策金利が引き上げられたものの、今後の利上げ見通しが据え置かれたことを背景に、アセットバック証券市場が上昇したこと
- ・ 期を通して、保有したアセットバック証券などからのインカムゲイン(利息・配当収入)を得たこと
- ・ ドル/円の為替変動

## ○当ファンドのポートフォリオ

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

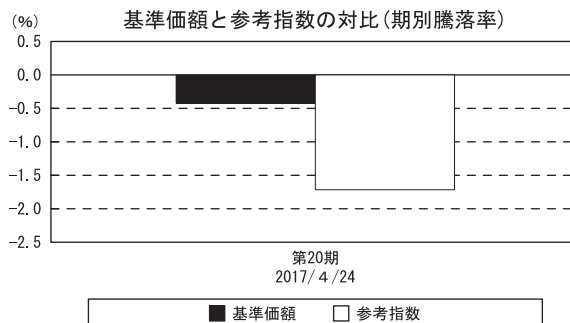
上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。

- ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
- ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
- ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）が-1.7%となったのに対し、基準価額は-0.4%となりました。主な差異の要因としては、高位に組み入れたアセットバック証券の価格が上昇したことなどでした。



(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。

## ○今後の運用方針

引き続き、アセットバック証券を中心に国債・政府機関債を加えたポートフォリオを基本とした運用を行う予定です。デュレーションについては市場の変動に応じて調整していく方針です。

投資するアセットバック証券各セクターの運用方針は以下の通りです。

- ①MBSは、当面は現状程度の組入比率を維持しながら、スプレッドの変化に応じて組入比率を調整していく予定です。
- ②CMBSは、同程度の格付けを持つ国債や社債と比べ、高い利回りを有しています。ファンドにおいては現状程度の組入比率を維持しながら、高水準のインカムを享受していく方針です。
- ③ABSは、クレジット環境を注視しながら、短期部分で機動的に組入れる可能性があります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2016年4月26日～2017年4月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 10	% 0.042	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 9 )	(0.041)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	10	0.042	
期中の平均基準価額は、22,852円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2016年4月26日～2017年4月24日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	千米ドル 4,954	千米ドル 4,947
		特殊債券 1,534	2,314 ( 273)
	社債券（投資法人債券を含む） 499	524 ( 207)	

\*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

\*単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

\*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年4月26日～2017年4月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2017年4月24日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	87,441	14,301	1,572,628	97.2	0.1	86.9	10.1	0.2
合 計	87,441	14,301	1,572,628	97.2	0.1	86.9	10.1	0.2

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\* スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスによる格付けを採用しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	2.25	525	525	57,805	2027/2/15
	特殊債券 (除く金融債)	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.13	700	729	80,207	2021/6/25
		FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.716	2,000	2,049	225,396	2022/6/25
		FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.002	1,490	1,534	168,749	2024/1/25
		FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.768	453	463	50,994	2024/4/25
		FHMS K033 A2	3.06	4,272	4,438	488,038	2023/7/25
		FHMS K503 A2	2.456	750	761	83,689	2019/8/25
		FN AS1317	4.0	902	957	105,253	2043/12/1
		GNMA 30YR 589197	6.5	17	19	2,121	2032/8/15
		GNMA 364408	6.5	4	4	533	2023/11/15
		SBAP 1998-20F 1	6.3	26	27	3,003	2018/6/1
	SBAP 97-20E	7.3	0.97279	0.97451	107	2017/5/1	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	BSARM 04-7 4A	3.35717	17	17	1,955	2034/10/25
		COMM MORTGAGE TRUST	2.801	500	509	55,984	2047/11/10
		JP MORGAN CHAS CMMRCI IO	0.0648	73,835	265	29,163	2046/12/15
		JP MORGAN CHASE COMMERC	3.5074	457	478	52,661	2045/5/15
		JPMCC 2002-CIB4 C	6.45	44	44	4,900	2034/5/12
		JPMCC 2010-C2 A3	4.0698	400	421	46,362	2043/11/15
		MORGAN STANLEY BAML TRUS	4.90153	45	48	5,364	2046/11/15
		WORLD FINANCIAL NETWORK	2.55	500	508	55,888	2024/6/17
	WORLD FINANCIAL NETWORK	2.03	500	495	54,446	2025/4/15	
合 計						1,572,628	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ○投資信託財産の構成

(2017年4月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,572,628	87.9
コール・ローン等、その他	216,247	12.1
投資信託財産総額	1,788,875	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産(1,590,285千円)の投資信託財産総額(1,788,875千円)に対する比率は88.9%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.96円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月24日現在)

## ○損益の状況 (2016年4月26日～2017年4月24日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,788,875,906
コール・ローン等	208,464,412
公社債(評価額)	1,572,628,920
未収入金	2,096,780
未収利息	5,628,384
前払費用	57,410
(B) 負債	170,649,272
未払金	168,749,222
未払解約金	1,900,000
未払利息	50
(C) 純資産総額(A-B)	1,618,226,634
元本	699,064,301
次期繰越損益金	919,162,333
(D) 受益権総口数	699,064,301口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,148円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	51,360,378
受取利息	51,207,185
その他収益金	168,943
支払利息	△ 15,750
(B) 有価証券売買損益	△ 59,692,114
売買益	7,955,027
売買損	△ 67,647,141
(C) 保管費用等	△ 719,208
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 9,050,944
(E) 前期繰越損益金	1,056,009,757
(F) 追加信託差損益金	34,480,273
(G) 解約差損益金	△ 162,276,753
(H) 計(D+E+F+G)	919,162,333
次期繰越損益金(H)	919,162,333

(注) 期首元本額は797,167,821円、期中追加設定元本額は27,319,727円、期中一部解約元本額は125,423,247円、1口当たり純資産額は2,3148円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・アセットバック証券オープンDコース 470,866,499円  
 ・アセットバック証券オープンCコース 228,197,802円

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。



## ○お知らせ

---

- ①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。  
＜変更適用日：2017年3月31日＞
- ②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。  
＜変更適用日：2017年3月31日＞
- ③金利先渡し取引および為替先渡し取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。  
＜変更適用日：2017年3月31日＞